

民衆の声
ボイス

No.112

公明党 横浜市会ニュース

Voiceよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-20

山中市長へ要望書を提出

子どもの医療費 無償化18歳までの拡大
来年度実施へ！

8月26日、さらなる子育て負担の軽減を求めて、8月3日に市長選挙で2期目の当選を果たした山中竹春市長に要望。小児医療費助成の拡充について、所得制限なしで速やかに18歳まで対象を引き上げるよう申し入れました。

市長は「18歳までの拡大に向けて取組を進めていきたい」と応じました。平成4年、公明党市議団として、横浜市会で初めて乳幼児の医療費無償化を提案。以来、歴代市長との議論を重ね、中学3年までの無償化を実現してきました。

私たちは、来年度からの対象年齢拡大の実現に向けて、取り組んでまいります。



山中市長に、早期の実施を要望

带状疱疹ワクチン定期接種がスタート！

公明党が、長年にわたり国と地方の議会で連携し、政策提言をしてきた带状疱疹ワクチンの定期接種がカタチになりました！横浜市は、7月1日から65歳以上の方などを対象に開始。対象者には予診票が郵送され、接種期間は令和8年3月31日までです。



山中市長に要望したときの様子(令和4年10月14日)

■定期接種化を求める公明党横浜市議員団と横浜市の動き

令和4年	5月20日	一般質問において公費助成の導入を要望
	10月14日	令和5年度予算要望と合せ、定期接種化を要望
	12月19日	市長が厚労省へ定期接種化と財源措置を要望
令和5、4年度横浜市内での罹患状況等を調査		
令和5年	7月、11月	市長が厚労省に重ねて要望
令和6年	6月20日	厚労省専門家会議でワクチンを定期接種に含める方針を了承
令和7年	7月1日	横浜市での定期接種がスタート

■対象者

- 令和8年4月1日時点で65歳の方
- 令和7年度から5年間の経過措置として、令和8年4月1日時点で70、75、80、85、90、95、100歳の方
- 令和7年度に限り、令和8年4月1日時点の年齢が101歳以上の方

■接種費用(自己負担額)

- 生ワクチン(1回接種).....4,000円
- 組換えワクチン(2回接種で)....20,000円
- ・ワクチンは2種類から選択してください。
- ・非課税世帯および生活保護の方は接種費用が免除されます

■接種場所

横浜市带状疱疹ワクチン接種協力医療機関

詳しくは
こちら▶

都筑区 まちかどホットライン

新横浜元石川線への道路調査実施→(葛が谷～平台)
外側線・破線・減速ドット・「速度おとせ」文字追加！

昨今、都筑区の新横浜元石川線上で起きた悲惨な死亡事故を含む、複数の交通事故に胸を痛めています。市議員として私にできることを考え、せめて運転手側のスピードを出しすぎないようにする対策が必要だと考えました。

そこで、民間の企業へ依頼し、独自で実態調査を実施。現状把握をする為の様々なデータを取得・分析し、都筑警察署へ提出致しました。都筑警察署は、神奈川県警察の管轄下であるため、公明党の「チーム3000の連携」で、鈴木ひでし県議員と共に都筑警察署へ本件にかかわる要望をし、県議会でも取り上げていただきました。

◆その結果

死亡事故の起きた「平台から葛が谷」間の道路(新横浜から荏田方面へ)に外側線、破線、減速ドット、「速度おとせ」文字を追加していただきました。(反対車線についても進めていただいております)

また、仲町台駅前の現場でも調査を進めていく中で、合計6車線あるこの新横浜元石川線上をスマホを見ながら、横断歩道も信号もない箇所を渡ったり、Uターンする二輪車などもあるということを知りました。大切な我が都筑区の皆様の安全を守るような提案をして参ります。

残念なことに、神奈川県内での二輪車事故は、全国平均の約2倍で、二輪車乗車中の交通事故死者数は、東京都と並んで『全国ワースト1』です。交通安全課の担当者は、「事故を減らすには、一人ひとりの意識の向上が不可欠で、運転手はもちろん、歩行者も注意深く行動することが大切です」と訴えています。交通事故は、一瞬の油断から起こります。ご自身をはじめ、家族や地域の方の命を守るためにも、「交通安全」という責任を自覚し、行動に移せるようにしましょう。例えば、運転者側の対策としては「制限速度を守る」や「運転中にスマートフォンの操作を禁止する」、歩行者側の対策としては「歩きスマホはしない」や「夕方以降には、暗い服よりも明るい服で自認性を高めること」などです。しっかりと安全対策を進めて参りましょう。



明るい未来への一歩

■東日本大震災・伝承館への視察

9月1日は「防災の日」です。本年度は「減災対策推進特別委員会」に所属しており、党として東日本大震災の被災地から減災対策を学ぶために東北へ向かいましました。福島の大震災・原子力災害伝承館では、地震と津波に加えて原発事故という複合災害に苦しめられ、この14年間に復興に向けて取り組まれてきたのか、様々な資料や記録、証言をデータやビジュアルで震災の記録と記憶を教訓として残す工夫がされていました。本市にとっても教訓となるのは、災害後の避難のあり方や関連死者数が極めて多いことで、医療・介護スタッフへの支援が必須であることも、改めて痛感しました。



津波で変形した消防車

■荒浜小学校への視察

宮崎県仙台市立荒浜小学校へも視察へ伺い、当時の校長先生より直接お話を伺うことができました。当時、津波に囲まれた校舎にある緑の屋上で、避難した人々が消防ヘリでの救出を求める姿を報道で目にしましたが、本校舎は被災の痕跡を鮮明に残しており、被災直後の様子がわかる展示などがあり震災遺構として残されています。生徒が助かった原因として地震の避難訓練だけでなく、津波の避難訓練を開始した後の震災であったことを通し、日頃の備えが必要であることや備蓄品の保管場所、トイレの確保、情報確保の重要性など実体験者である校長先生から教えていただき大変勉強になりました。いよいよ今月9日から令和7年第3回市会定例会が始まります。この度の視察で学ばせていただきましたことを市政に活かせるよう質疑して参ります。



1階の廊下に、車3台が津波で押し流された様子

横浜市議員
市来 えみこ
【都筑区選出】お知らせ
新しいInstagram
(インスタ)開設

我が都筑区青年部とお話を進めていく中で、新しいインスタを開設することとなりました。

「知らなきゃ損」な制度や仕組みを、誰にとっても「わかる、身近」に感じていただけるようにお届けしていきます。子育て・教育・介護・お金のお話など計画していきますが、第一弾は9月開始にて「防災」にしました。



X(Twitter)



Instagram

【E-mail】ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
【ホームページ】http://ichikiemiko.jp